

2025年11月の運用状況

アジア半導体関連フォーカスファンド(愛称 ライジング・セミコン・アジア)
追加型投信/内外/株式

- 当ファンドは主要な投資対象である「Next Generation Semiconductor Asia Fund(円建て、ヘッジなしクラス)」(以下投資先ファンド)への投資を通じて日本を含むアジア半導体関連企業に投資を行っています。
- 本レポートでは、足元の投資環境、運用経過に加え、現在注目している主要半導体銘柄についてご紹介致します。



足元の投資環境について

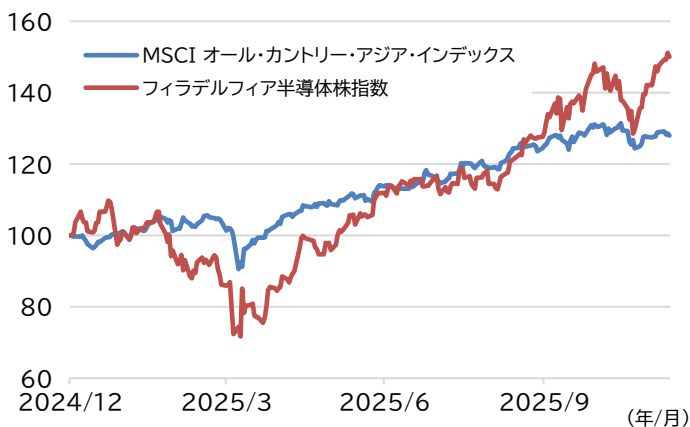
11月のアジア株式市場は下落する展開になりました。10月末に公表された中国の製造業購買担当者指数(PMI)が低調であったことから景気減速への懸念が高まったほか、11月中旬に公表された中国の主要経済統計が引き続き弱めであり、特に投資面の減速が顕著であったことが売り材料となりました。また、世界的にテクノロジー株に対するバリュエーション面の割高感が懸念されたことも重なり、調整色の強い展開となりました。

半導体関連株指数(フィラデルフィア半導体株指数)の11月の月間騰落率は-2.8%となり、MSCIオール・カンントリー・アジア・インデックスの-2.1%を下回りました。

※各指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
市場をご理解いただくための参考としてお見せしています。

図表1 主要株価指数の推移

(期間 2024年12月31日～2025年12月11日、日次)



※2024年12月31日を100として指数化
※各指数は配当込み、米ドルベース

(出所)Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成



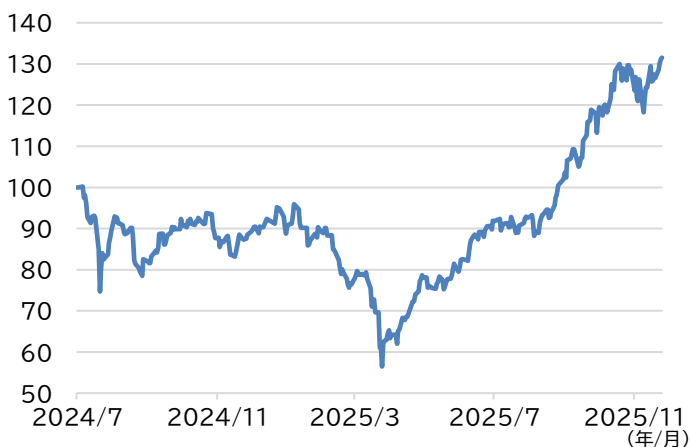
運用経過

当ファンドの基準価額は、投資先ファンドで組み入れている台湾の半導体関連銘柄の多くが上昇した一方、日本や韓国の組入銘柄が高安まちまちで推移したことなどから、11月の月間騰落率は3.2%の下落となりました。

個別銘柄で見ると11月は、台湾の半導体関連銘柄の株価上昇が目立ちました。半導体検査装置を手掛ける台湾の「中華精測科技」、集積回路(IC)のファブレス設計を行う台湾の「エーススピード・テクノロジー」、半導体分野で用いられる放熱関連の部材などを製造する台湾の金属加工メーカー「ジェンテック・プレジジョン・インダストリアル」などの株価が大幅に上昇し、基準価額にプラスの寄与となりました。

図表2 基準価額の推移

(期間 2024年7月17日～2025年12月11日、日次)



※2024年7月17日(設定日)を100として指数化
※基準価額:信託報酬控除後

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



銘柄紹介:ジェンテック・プレシジョン・インダストリアル(台湾)

ジェンテック・プレシジョン・インダストリアルは、1987年3月に設立された台湾の金属加工メーカーで、本社は台湾西北部の桃園市にあります。同社は台湾・桃園市と中国・江蘇省の無錫市に生産拠点をもち、北米や欧州、東南アジアにサービス拠点を展開しています。

同社の主力製品は、半導体分野で用いられるヒートスプレッダーです。ヒートスプレッダーは、半導体パッケージにおいてICチップからの効率的な熱放散を行うために使用される高熱伝導の金属性構造部材です。半導体の高性能化が進み、AIが急速に発展していく中、電力消費量の拡大に伴って熱発生問題への対応が不可欠なものになっており、同社の放熱技術に対する評価が高まりつつあります。

同社は米国のエヌビディアやアドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)、インテルなど多くの大手半導体企業と強い結びつきを持っており、高性能半導体分野における放熱ソリューションの需要拡大が見込まれます。

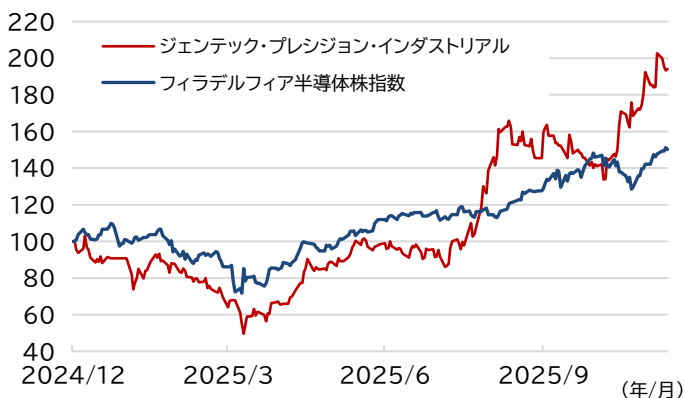
放熱技術へのニーズとともに業績は拡大へ

2025年7-9月期の同社の売上高は前年同期比41.1%増加し、調整後純利益は同71.9%増加と大幅な増収増益を達成しました。ヒートスプレッダーをはじめ、同社が扱う精密機器への需要の増加に伴い平均販売価格が上昇したことが、好業績の背景となっています。今後も放熱技術へのニーズがますます高まる中、電力効率の向上を継続的に推進することによって、同社の成長ポテンシャルがもたらされると予想されます。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

図表3 株価の推移

(期間 2024年12月31日～2025年12月11日、日次)

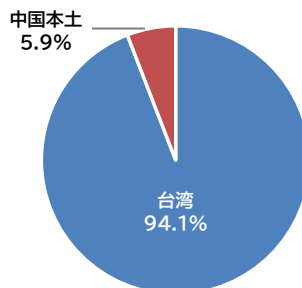


※現地通貨ベース、配当込み

※2024年12月31日を100として指数化

図表4 所在地別売上高構成比率

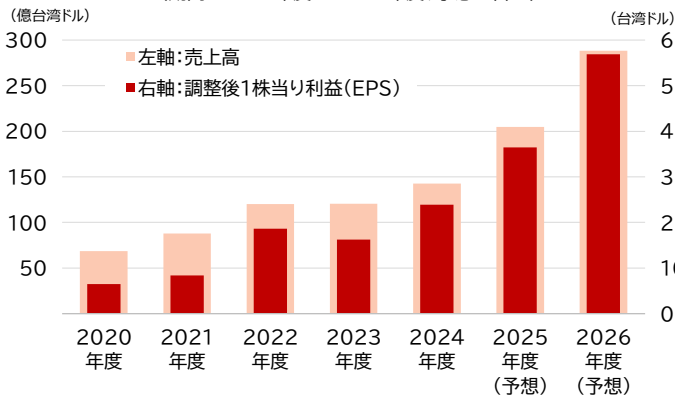
(2024年12月期)



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

図表5 売上高とEPSの推移

(期間 2020年度～2026年度、予想を含む)



※2025年度以降は予想値

(図表3-5出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

アジア半導体関連フォーカスファンドに関する留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料 : ありません。
信託財産留保額: 一口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.3%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用(信託報酬): 純資産総額×年率1.2925%(税抜1.175%)
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担: 純資産総額×年率1.9425%程度
※実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用: 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
FFG証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第5号	○			○
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

委託会社 お問い合わせ先	電話番号 03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)	ホームページ https://www.sbiokasan-am.co.jp
-----------------	--------------------------------------	---